



2023年1月期 第3四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証プライム(証券コード:1433)

決算のポイント

売上高

3,863百万円

- ・売上高は、対前年207百万円(5.7%)増
- ・大型の進行基準工事の進捗により、増収

営業利益

7百万円

- ・営業利益は、外注費の増加や継続的な人材採用・研究開発・広告宣伝等の投資により販管費が増加し、対前年236百万円(97.0%)減

受注残高

3,582百万円

- ・受注残高は、ストック型工事の増加、および大型工事の受注に支えられ、高水準で推移
- ・第2四半期より1,720百万円(92.4%)増

業績予想の修正

- ・大型解体工事の受注・着工時期の遅延による売上高の減少および外注費・販管費の増加による利益率の低下に伴い業績予想数値と乖離した為、業績予想を修正

脱炭素アクションプラン
2025(新中期経営計画)

- ・2026年1月期の売上目標を100億円から120億円、営業利益目標を10億円から12億円に上方修正
- ・脱炭素経営と企業風土の変革による収益力の向上を基本方針とする

損益計算書: 第3四半期(2023年1月期)

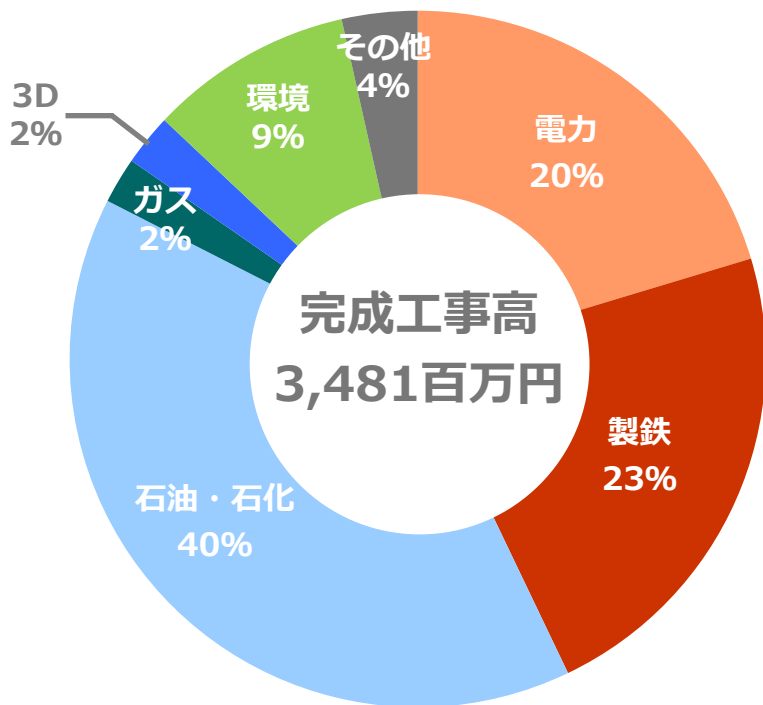
営業利益は、外注費や販管費の増加により、前年同期比97.0%の減益となりました。また前期は、リバーHD社の経営統合に伴う株式移転により、営業外収益と特別利益に特殊要因の利益が計上されています。

単位: 百万円

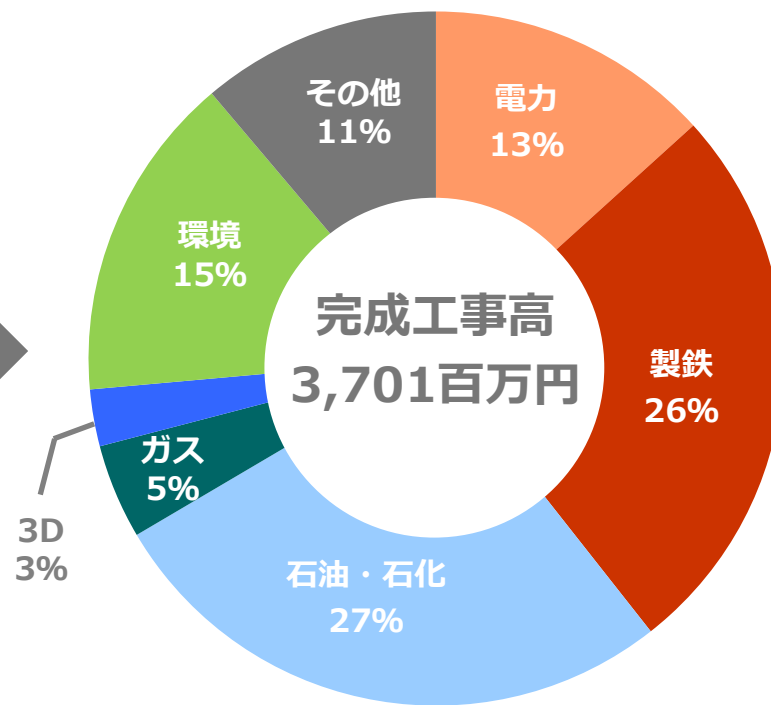
| | 2023年1月期 第3四半期 | 対売上高 比率 | 前年同期 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|----------------------|-------------------|------------|-------|--------------|--------------|
| 売上高 | 3,863 | — | 3,655 | 207 | 5.7% |
| 売上総利益 | 656 | 17.0% | 754 | ▲98 | ▲13.0% |
| 販売費及び 一般管理費 | 649 | 16.8% | 511 | 138 | 27.0% |
| 営業利益 | 7 | 0.2% | 243 | ▲236 | ▲97.0% |
| 経常利益 | 77 | 2.0% | 446 | ▲368 | ▲82.6% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 16 | 0.4% | 1,202 | ▲1,186 | ▲98.6% |

業界別 完成工事高構成比率

アスベスト除去等の環境対策工事の需要拡大、(株)矢澤のグループ化により、環境カテゴリの完成工事高に占める比率が増加しバランスのとれた構成比となっております。



2022年1月期（第3四半期）



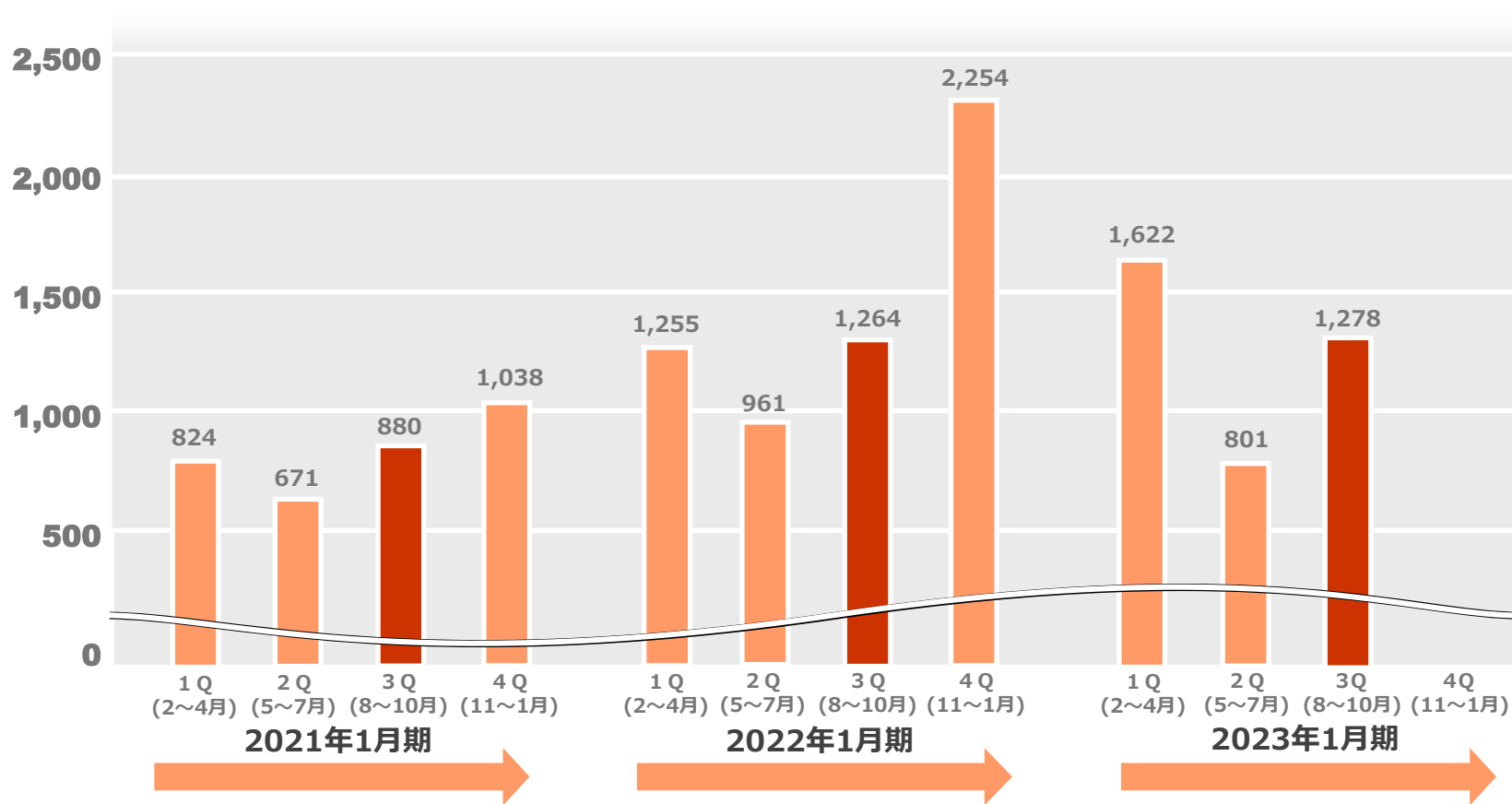
2023年1月期（第3四半期）

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客（施主）の設備投資計画に応じた季節性があります。今期も例年通り、下期に完成工事高の増加を予定しております。

完成工事高

単位: 百万円



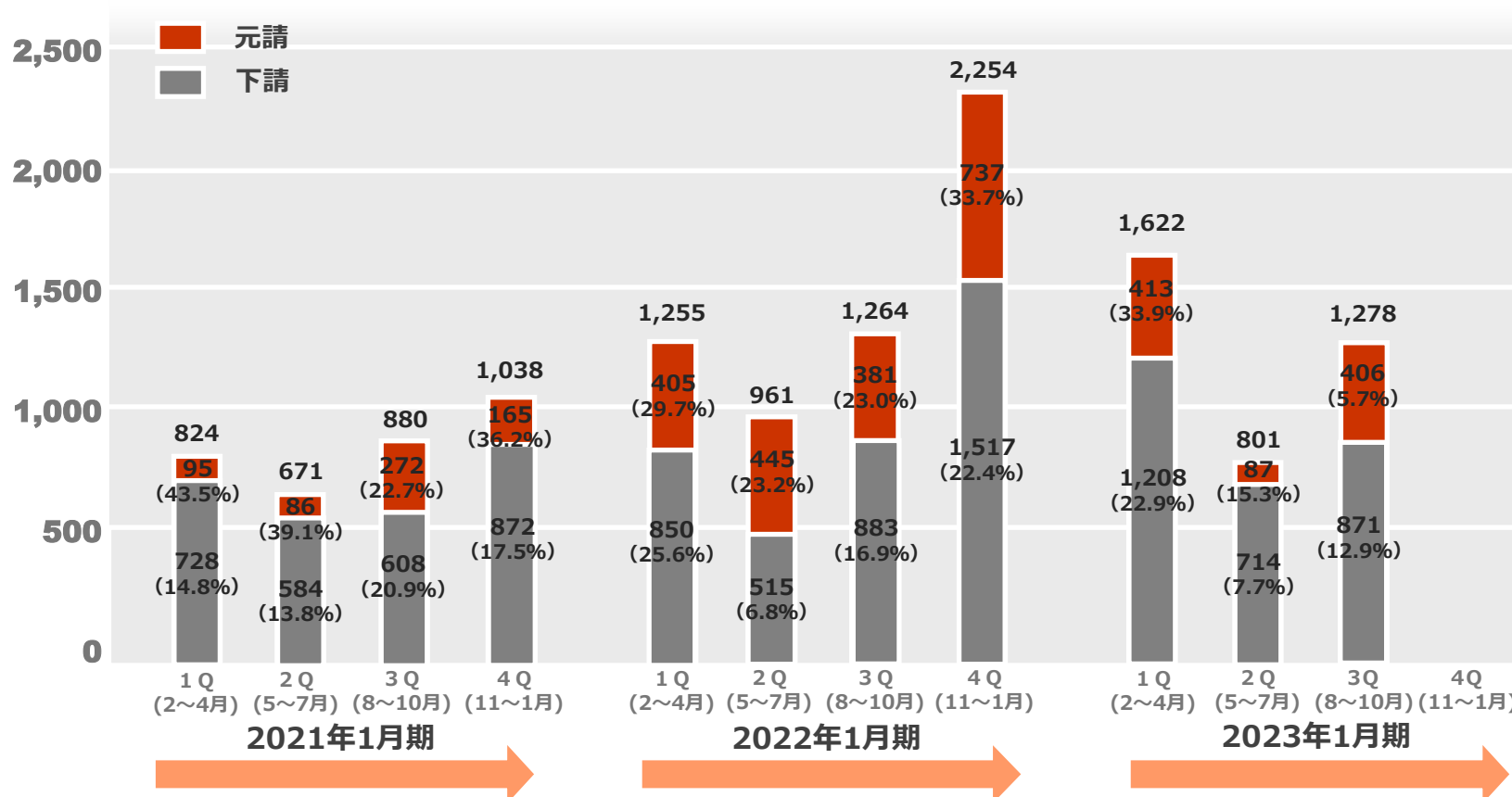
完成工事高に占める元請案件の推移

元請工事の拡大を営業戦略としており、新規客先の場合は受注を優先し工事金額を下げて受注するケースがある為、利益率が一時的に低下しております。

完成工事高

単位: 百万円

※表中の () 内は、利益率



販売費及び一般管理費：第3四半期（2023年1月期）

販管費は、中期経営計画に基づき、人材採用や教育研修、研究開発、広告宣伝費等の投資を進め、当初計画通り推移する見込みであります。

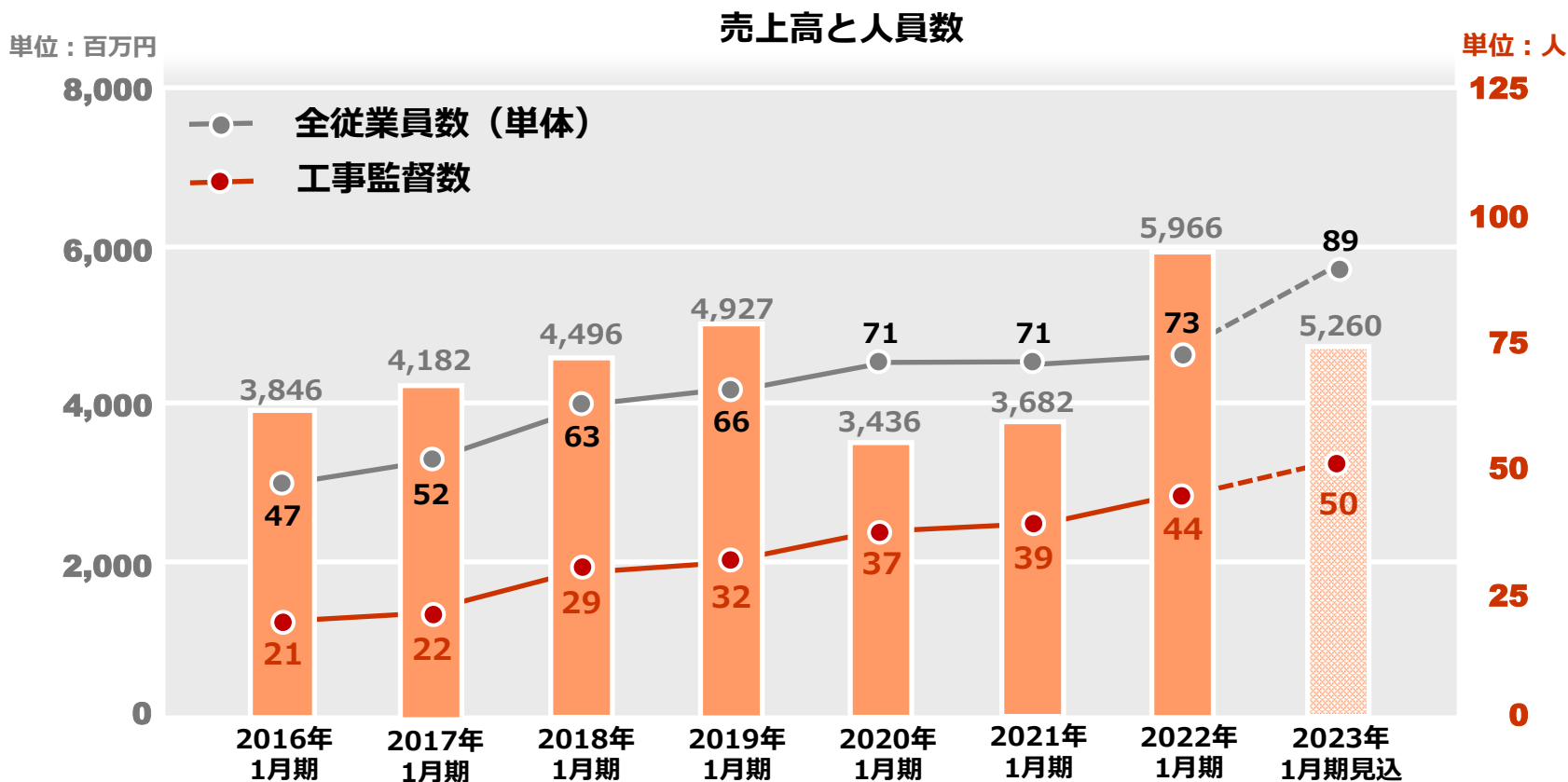
単位：百万円

| | 2023年1月期 第3四半期 | 前年同期 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 | 主な増減要因 |
|---------------|-------------------|------|--------------|--------------|-----------------|
| 人件費 | 354 | 311 | 43 | 13.9% | 人員増 |
| 研究開発費 | 12 | 13 | ▲1 | ▲7.3% | ロボット開発費用減少 |
| 支払手数料 支払報酬 | 58 | 45 | 12 | 26.4% | 営業協力費用、システム改良等 |
| 採用費 | 12 | 14 | ▲1 | ▲8.9% | 広告媒体、紹介手数料等減少 |
| 広告宣伝費 | 24 | 4 | 19 | 398.1% | ブランディング費用、展示会出展 |
| 教育研修費 | 2 | 0 | 2 | 515.0% | 社員研修、資格取得費用 |
| その他 | 183 | 120 | 63 | 52.5% | |
| 合計 | 649 | 511 | 138 | 27.0% | |

人員計画の進捗

中期経営計画に基づき下記の人員増を予定しております。

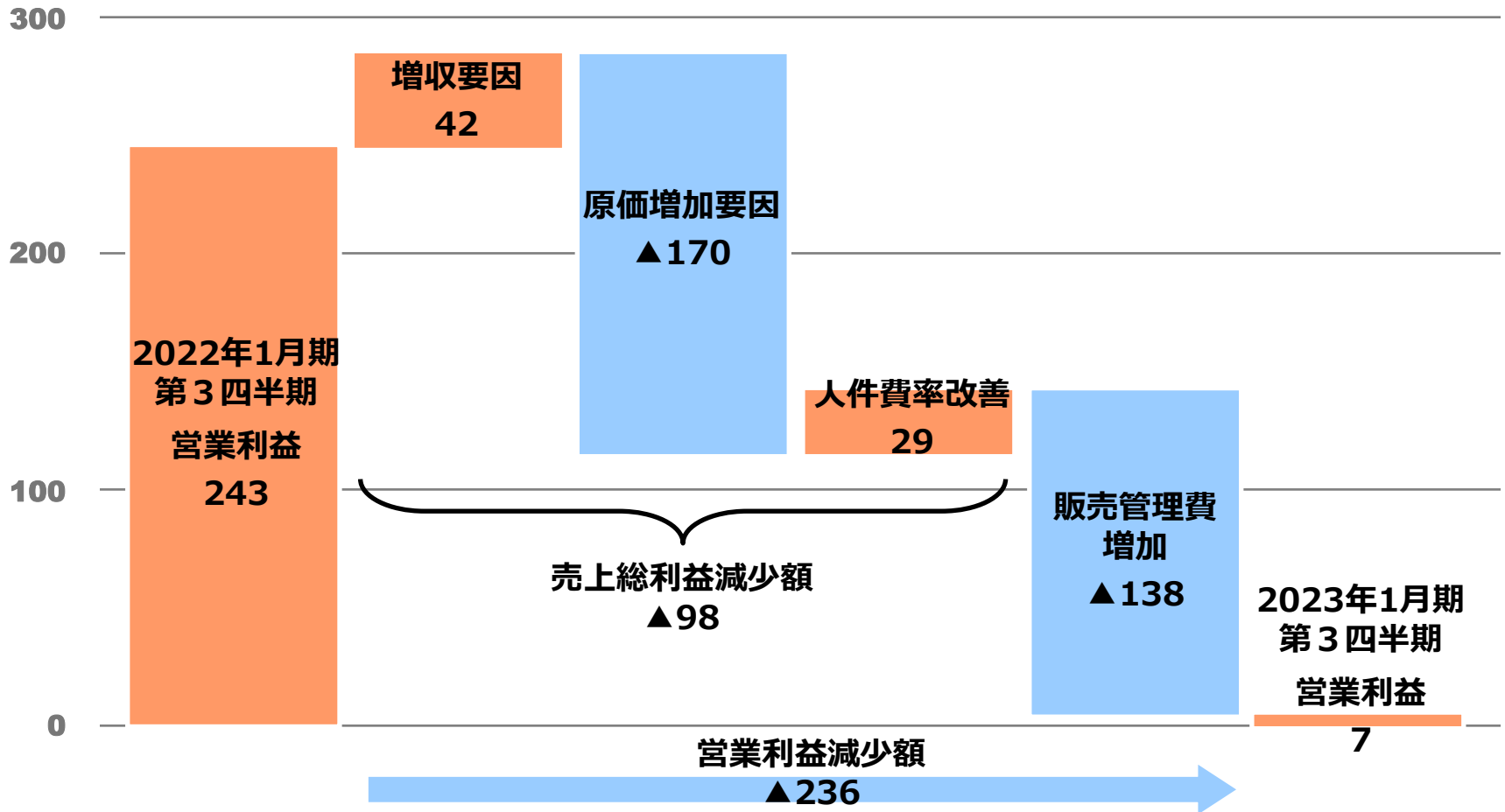
発表日現在、**工事監督数**は、**期首から5名増の49名**となっております。



営業利益の増減要因分析：第3四半期（2023年1月期）

工事は順調に進捗しているものの、外注費の増加や人材採用費、元請獲得のための広告宣伝費用による販管費の増加が影響し、減益となっております。

単位：百万円



貸借対照表：第3四半期(2023年1月期)

単位：百万円

| | 2023年1月期 第3四半期 | 前事業年度末 | 増減額 | 主な増減要因 |
|----------|-------------------|---------|--------|--------------------------------------|
| 流動資産 | 3,364 | 4,561 | ▲1,196 | 大型工事の完成に伴う売掛債権の回収、(株)クラッソーネへの出資によるもの |
| (うち現金預金) | (1,461) | (2,122) | (▲660) | |
| 固定資産 | 5,263 | 4,391 | 871 | 投資有価証券の評価替え、(株)クラッソーネへの出資によるもの |
| 流動負債 | 1,441 | 2,181 | ▲740 | 工事減少(対前期末)による未払金減少によるもの |
| 固定負債 | 2,428 | 2,493 | ▲64 | 長期借入金の返済によるもの |
| 純資産 | 4,757 | 4,278 | 479 | 投資有価証券の評価替え、新株予約権増資によるもの |
| 総資産 | 8,627 | 8,953 | ▲325 | |

受注状況：第3四半期(2023年1月期)

ストック型工事(安定的かつ継続的な工事)の受注増および元請工事への積極的な営業活動により、受注工事高は対前年比で2,606百万円(84.5%)増加し、受注残高は1,434百万円(66.8%)の増加となっております。

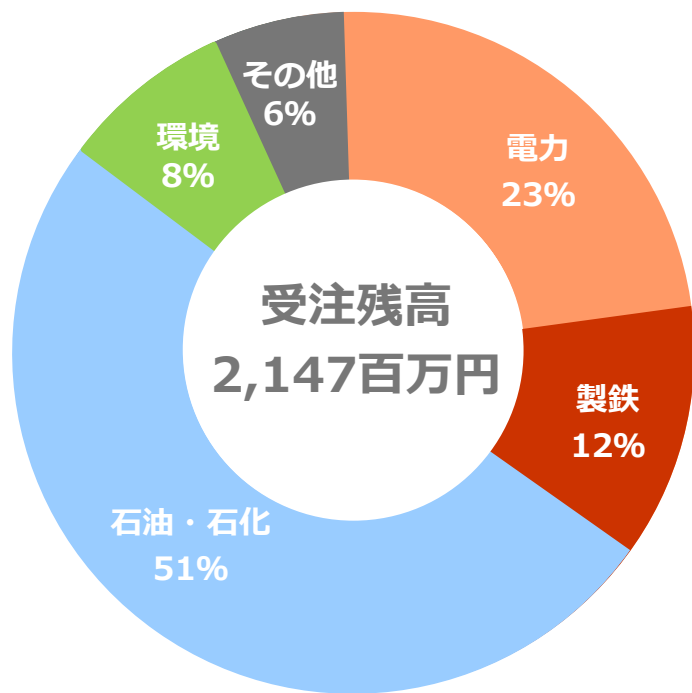
| | 2023年1月期 第3四半期 | 前年同期 | 増減額 | 増減率 |
|-------------------|-------------------|-------|-------|--------|
| 期首繰越工事高 | 1,594 | 2,545 | ▲951 | ▲37.4% |
| 受注工事高 | 5,690 | 3,084 | 2,606 | 84.5% |
| 完成工事高 | 3,701 | 3,481 | 220 | 6.3% |
| 期末繰越工事高 (受注残高) | 3,582 | 2,147 | 1,434 | 66.8% |

単位: 百万円

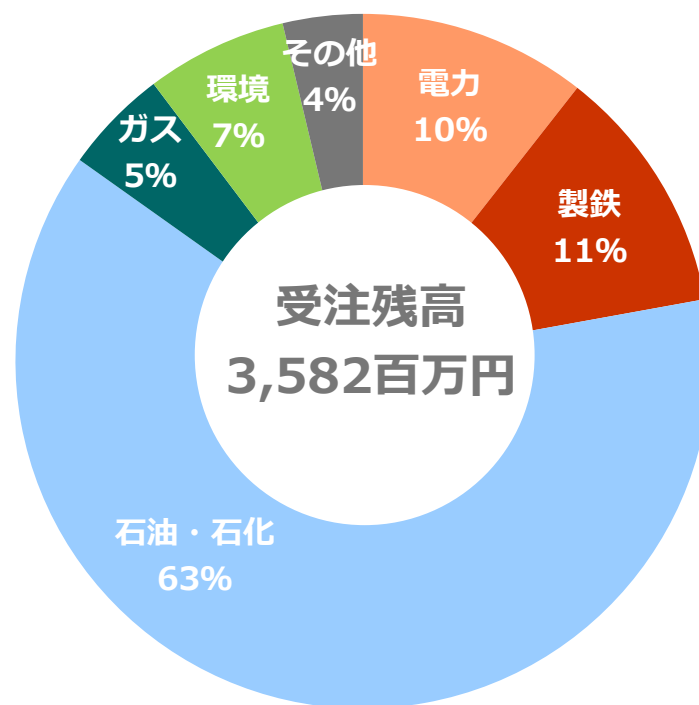
※受注残高は、当第2四半期より1,720百万円(92.4%)増加しております。

業界別 受注残高構成比率

注力する元請工事への積極的な営業活動により、石油化学業界で大型工事の受注があり、受注残高に占める比率が高くなっております。



2022年1月期（第3四半期）



2023年1月期（第3四半期）

業績予想の修正 (2023年1月期)

2023年1月期の業績予想は、大型解体工事の受注・着工時期の遅延による売上高の減少および外注費・販管費の増加による利益率の低下に伴い前回業績予想数値と乖離した為、業績予想を下方修正いたします。

単位: 百万円

| | 修正後 業績予想 2023年 1月期 | 前回 業績予想 2023年 1月期 | 増減率 |
|---------------------|-----------------------|----------------------|---------|
| 売上高 | 5,250 | 6,700 | ▲21.6% |
| 営業利益 | ▲270 | 620 | ▲143.5% |
| 経常利益 | ▲140 | 666 | ▲121.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | ▲200 | 469 | ▲142.6% |
| 1株当たり 当期純利益 | ▲23円 | 54円 | — |
| 1株当たり配当金 | 20円 | 20円 | — |
| 配当性向 | ▲86.2% | 36.8% | — |

脱炭素アクションプラン2025(新中期経営計画)

新しく「脱炭素アクションプラン2025(新中期経営計画)」を策定し、2026年1月期の売上高を120億円、営業利益を12億円に上方修正しております。

単位: 百万円

| | 2023年 1月期 見込 | 2024年 1月期 | | 2025年 1月期 | | 2026年 1月期 | |
|-------------------------|-----------------|-----------|-------|-----------|--------|-----------|---------------|
| | | 旧計画 | 新計画 | 旧計画 | 新計画 | 旧計画 | 新計画 |
| 売上高 | 5,250 | 7,800 | 7,800 | — | 10,000 | 10,000 | 12,000 |
| うち脱炭素解体ソリューション | — | — | 7,200 | — | 8,000 | — | 9,000 |
| うちDXプラントソリューション | — | — | 600 | — | 2,000 | — | 3,000 |
| 営業利益 | ▲270 | 720 | 510 | — | 800 | 1,000 | 1,200 |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | ▲200 | 552 | 400 | — | 600 | 752 | 880 |
| ROE (株主資本当期純利益率) | — | 11.0% | 8.0% | — | 10.0% | 13.0% | 13.0% |
| EPS (1株あたり当期純利益) | ▲23円 | 67円 | 45円 | — | 68円 | 91円 | 99円 |

脱炭素アクションプラン2025(新中期経営計画)

2024年1月期から2026年1月期を“新たな成長への転換点”と位置付け、国内・業界内の事業環境の変化を考慮した上で脱炭素経営を推進し、企業風土を変革することにより、収益力の向上を図ります。

基本方針

脱炭素経営と企業風土の変革による収益力の向上

重点戦略

工法によるイノベーション

脱炭素解体
ソリューション

風力発電設備 有害物質の適正処理
無火気工法 高利益体質への変革
土壌汚染対策工事 転倒工法

IT活用によるイノベーション

DXプラント
ソリューション

3D計測・点群データ化
ソフトウェア開発 ロボット開発
3Dモデリング 遠隔・無人化施工

さらなるイノベーション
を産み出す土台

人事戦略

HRトランスフォーメーション
採用の強化
教育プログラムの確立

※詳細は2022年12月8日発表の「脱炭素アクションプラン2025(新中期経営計画)」をご覧ください。

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベストセラ株式会社

